

町財政は赤字続き 守りも大事だが打者を

回答

子育て世代を対象とした転入出の統計データはござい

ません、25歳から44歳

までのかたを子育て世代と

仮定し、この年代のかた

の、直近3年間転入出の統

計データを申し上げます、

いずれの年も転出の人数が

転入を上回っている状況で

ございます。

ご指摘の数値を見ますと、

子育て世代に当たると思わ

れる年齢層の転出人数の抑

制や転入人数の増加には現

れていないというふうにデ

ータとしてございます。

森口の質問

たしか職員に 今まで通り

ではいけないとおっしゃい

ましたがどのような変革を

実践されましたか？

回答

地方交付税の緩和措置が

なくなることからさらに財

政運営が困難になること、

そのため経費を最小化する

ための努力を日々創意工夫

を行いながら粘り強く続け

ていくことが大切なのだ

と申し上げた上で、その締め

くくりとして今まで通り

は通用しないという言葉を訓

示として述べました。

この言葉は行政方針を直

ちに大転換するための発言で

はなく、基本的な考え方、

として捉えていただいたら

と考えております。

森口の質問

近隣町村との比較としまし

て、良くなったこと、劣っ

ているところ、何か手立

ては打ちましたでしょうか？

回答

基本的に本庁と近隣の市町

村を比較いたしましたして事

務事業の優劣をもって政策を

展開することは基本的には

ございません。それぞれの

市町村が素晴らしい吉野の

伝統として文化自然環境を



守りながら行政事務事業を

展開されているところでご

さいます。

森口の質問

吉野のリーダーとしての自

覚、対策をお聞かせくださ

い。

回答

吉野地域の中核としての

機能役割を担っていること

は自覚してございます。吉

野のリーダーということ

は、町長自らが言うことで

はなく、近隣自治体の関係

者からそう言っていただけ

るような取り組み、この姿

勢を貴くことだと考えてお

りまして、そのような意味

合いで資格はないというふ

うにお答えさせていただきます。

森口の質問

2点目は、そろそろ積極財

政に切替はどうか、

という質問です

議会からの提案や住民の皆

様からの要望は増える一方

です、事あるごとに財政破

綻の言葉を聞き、財政難が

ゆえに執行できない旨、よ

く聞かれますが、令和7

年奈良県総務部の県内市町

村決算を見ると、令和5年

度の経常収支比率は90・

2%、で全国平均を下回っ

てますが、基金残高は5

3・5%、これは全国平均

以上で26億7300万
円、優秀な部類に入ってま
す。

健全経営ありがとうございます
ます、しかし徴収率が悪い
のが問題で94・5%、県
内順位で35番、これは町
長の指導が行き届かず職員
の怠慢を現わしていると思
われまますが、対策をお聞
かせください。

回答

これらの指標を全国平均
と比べますと、良い状況に
あると考えることもできま
すが、**実質公債比率**でいま
すと、令和5年度決算では
7・7%で、全国平均の
5・6%に対する平均で悪
い状況にございます。
また、令和6年度決算は
8・7%と前年度より1%
と悪化している状況です。
次に、借金などの借入起債
の大きさを示す指標である
将来負担比率、この比率は
令和5年度決算では13・
6%です。
全国平均6・3%より高
く、また、令和6年度決算
は17・7%と前年度より
4・1%と悪化しておりま
す。これらの**健全化判断比**
率は財政健全化の状態を判
断するための指標で、全国

企業誘致 企業場 地場 働く場所

平均を切るということは認
識しなければならぬ指標
だと考えてございます。
そして、令和6年8月に令
和6年度から令和11年度
の財政見通しを昨年度、先
の5年間の財政見通しを
実施したところ、**今後、毎
年度4億から6億円の収支不
足が見込まれる**という計算
になっておりまして、その
収支不足の累計は期間の合
計で32億円余りとなって
ございます。

基金があるのではないかと
いうことでございますが、
基金は将来的に必要な事業
を計画的に実施するときに
備え、通常は基金に頼らな
い財政運営を目指していま
いたいと考えています。そ
のためには財源の確保もし
つかり実施しながら、将来
の事業をきちんと歳入を踏
まえて優先順位をつけてや
っていくと、まさに利益を
固めて譲るを出すというこ
とが重要であると考えてご
さいます。

町税の徴収率につきまして
は、大淀町がその徴収の債
権徴収権を保全しておりま

すので、他の自治体よりも
大きくなっておりまして、も
し徴収権を放棄して、この
欠損処理を行うとすれば、
現年度分の徴収率は奈良県
の平均と同率の99・4%
です。徴収率は奈良県
平均の97・2%を上回る
97・7%となると思いま
す。これは徴収率を指標と
して比較されることが多い
ので、他の市町村に比べて
劣っていると見られます
が、町の徴収業務の方針と
して債権の保全を優先して
いくということをご理解い
ただきたいと思います。

この件に関しまして
町財政が危機に瀕してい
ることはよくわかります。
しかし、過去の負債を住民
が背負うのは不条理です。
町民には充実したサービ
スを最優先に提供するべき
と思われま

財政難の克服は収入増の企
画が足りないだけ、**企業誘
致や地場産業を盛り立て
て収入増計画が必要**です。
本会議最終日に追加議案
で「議会改革特別委員会」
が設置されました、議員報
酬、議員定数について今後
議論されます。

目指せ幸福度
ナンバーワンの町

森口たがひ

プロフィール

昭和38年奈良県吉野郡
川上村下多古生まれ A型
平成2年大淀町北野へ移住
近畿大学付属 熊野高専
機械工学科 卒業
林英臣政経塾 卒塾塾士

過疎化が進んでも へこたれない街に

他市町村の成功事例は全て 大淀町に取り入れる!!

俺がやらねば
誰がやる
絶命までは
かすり傷